

日光白根山 (2,578m) 山行報告

【山行日】 2014年8月3日(日) 晴れ

【集合場所】 栃木運動公園 午前4時50分

【交通・費用】 マイカー1台 : 参加費 4,100円

【メンバー】 CL:島田 計6名

【コースタイム】

栃木運動公園 4:50—栃木IC—(高速)—清滝IC—

丸沼高原スキー場 6:50/7:30+++山頂駅 7:43—

二荒山神社 7:50—白根分岐 8:25—座禅山分岐 8:40—

座禅山 9:20—弥陀ヶ池分岐 9:30/9:40—白根山 10:40—

南峰 10:50/(昼食)/11:25—白根分岐 12:40—

二荒山神社 13:10—山頂駅 13:15+++駐車場 13:40/13:50—湯元温泉(入浴)—栃木運動公園 18:00

【山行報告】

今回の日光白根山は、丸沼高原からのルートであった。丸沼高原スキー場のゴンドラに乗り、標高1,400mの山麓から一気に2,000mの山頂駅まで約15分の空中散歩となる。二荒山神社に山行の安全を願ってから、

鹿除けのゲートをくぐり遊歩道に入っていく。遊歩道の途中より、白根山の南斜面を直登するコースがメインとなっているが、今回はNHKのBS番組「日本百名山」で紹介されたコースを、白根山山頂まで歩くこととした。



七色平の避難小屋を過ぎ、座禅山への分岐より座禅山を目指して登る。足下は木の柵を階段状に整備しており、歩く人が少ないのかあまり荒れていない。座禅山火口の縁からみる火口は、木が生えているため全景は見えないが、火口壁が直立している場所もあり小さいながらも立派な火口であることが確認出来た。

弥陀ヶ池への分岐より白根山を目指して最後の急登をつめる。途中にシロバナシャクナゲがまだ残っている場所もあり、花やまわりの景色を眺め、疲れを癒やしながら山頂を目指す。

日光白根山の頂は、人で溢れていた。頂上にある山名板の前は、撮影の順番を待つため渋滞していたが、なんとか全員で記念写真を撮影後、祠のある南峰にて昼食をとることとした。

下山はメインのコースをもどることにした。山頂直下は火山礫の斜面でザレ場となっている。森林限界から下は、木陰の登山道であるが、入山者が多いせいか結構荒れている場所が多い。整備が追いつかない模様である。

帰りは、湯元温泉で入浴をして帰宅となったが、竜頭の滝上部よりいろは坂までが渋滞していて思ったより時間がかかってしまった。リーダーの島田さん、運転を担当した仙石さん、それと参加のみなさん大変お世話になりました。

小川 記

